

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答弁要旨  | 答弁者                 |
|---|---|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>ア 手続き上の問題で、自民党東京都衆議院選挙区第2支部の解散や自民党離党が2ヶ月も延滞していることは、県民に「選挙時の誤解」と「不信」を招いていると思うが、道義的な責任も踏まえて見解を伺いたい。</p> | <p>1 昨年12月末の政治資金規正法の改正により、収支報告書の提出には、新たに設けられた「登録政治資金監査人」の監査が必要とされたことなどから、解散手続きは、時間的にきわめて難しい状況でした。</p> <p>2 なお、監査人が見つかりましたので、7月初旬を目途に支部を解散することとしております。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般)

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|---|--|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>イ 自民党東京都衆議院選挙区第2支部の資金が選挙資金に使われていないか疑念を晴らすために、支部及び後援会の収支報告を当該期間を限定して個人的に事前公開するつもりはないか。</p> | <p>1 政党支部は、現在、7月初旬を目途に解散手続きを進めているところであり、収支報告書は解散手続き完了後、政治資金規正法に基づき、しかるべき時期に公開されると思います。</p> <p>2 後援会の収支報告書については、法に従って、年が終了した際に報告を行い、従来通りに公開させていただく予定です。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般)

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|---|--|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>ウ 課税上の問題や、相手方が教育関連団体であることも踏まえ、講演料の処理に問題があったと思うがどうか。</p> | <p>1 講演については、基本的には事務所である森田健作政経懇話会に依頼があり、講演料も事務所にお振込みいただいておりますので、政治資金規正法に従って適正に処理を行ってきたところです。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答弁者                 |
|---|---|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>エ 自民党東京都衆議院選挙区第2支部は、今年ないしは選挙告示以後は、政治献金の受付を含む支部活動はしていないと理解してよいか。</p> | <p>1 政党支部の解散については、出馬表明をした時から、解散手続きを行うよう事務所に指示しました。</p> <p>2 また、無所属での出馬を表明した以降の政党支部への献金は、すべて返金するとともに、選挙に政党支部からの財政的支援は受けておりません。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般)

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨   | 答弁者                 |
|--|--|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>(再質問)</p> <p>今年はじめから出馬表明までの間、資金提供もあったけれどもそれは返却した旨の答弁があったが、このとおりでよいのか。</p> <p>個人的に事前公開をしたらどうかというようにお話ししたが、しないということではどうか。</p> <p>支部の解散は党本部のいわゆる機関に任せて、代理執行者で解散はできなかったのか。</p> <p>(再々質問)</p> <p>支部の解散手続きの完了時に収支報告を個人的に公開しないのか。</p> | <p>出馬表明するまでの政治献金は返金していませんが、出馬表明した以降の政治献金は返金しております。</p> <p>政治資金規正法に基づき公表させていただきたいと考えております。</p> <p>事務所スタッフの人数が確保できなかったため、ご質問のような手続きができませんでした。</p> <p>告発の捜査の妨げにもなりかねないことから、法に基づき公表させていただきたいと考えています。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者              |
|---|--|--------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>ア マニフェストの実現を県行政の目的とする予算編成の考え方は、県執行部の単独の判断なのか、それとも知事自身が指示したものなのか。</p> | <p>1 マニフェストは、候補者たる私が選挙の際、県民に掲げた公約であり、知事としての私が、その実現に努めることは当然のことと考えております。</p> <p>2 なお、予算編成の基本的な考え方は、県の方針として、知事である私が定めたものであります。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|--|---|--------------------|
| <p>（再質問）</p> <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（2）知事のマニフェストについて</p> <p>ア マニフェストの実現を県行政の目的とする予算編成の考え方は、県執行部の単独の判断なのか、それとも知事自身が指示したものなのか。</p> <p>県政の、補正予算の基本的考え方に「マニフェストを実現させるため」という言葉があり、これを知事が定めた。</p> <p>マニフェストはマニフェストであり、これをすべて丸呑みして行政の目的にするのか、それとも、これを精査してやっていくのか。行政の目的ないし、行政の展開のなかに、必要だ、緊急だ、これはもっと精査が必要だ、というすみ分けを本来しなければならないと思うが、こういう作業を行ったのか。</p> | <p>今後、県政運営に当たっての基本的な方針として、今年度中に総合計画を策定することとしており、この計画を基に県政を進めてまいりたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                  |
|---|--|--|
| <p>（再々質問）</p> <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（2）知事のマニフェストについて</p> <p>ア マニフェストの実現を県行政の目的とする予算編成の考え方は、県執行部の単独の判断なのか、それとも知事自身が指示したものなのか。</p> <p>マニフェストを本当に実現させることが県の基本的な考え方なのか。</p> <p>すべてを基本的な方針にするのか、精査しないのか。</p> | <p>総合計画の策定に当たって、マニフェストに掲げた事業も含めて、今後内容を十分検討しながら、策定したいと考えております。</p> <p>知事が答弁したとおり、マニフェストそのものをやろうとは思ってはいません。これは知事が選挙にあたり訴えてきたことであるので、これをいかに県政として実現するかということにつきましては、マニフェストを基本として、それを現実化する方策を十分検討した上で、県の計画としていくというのが筋であると思っています。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |



平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 道路計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答弁者                |
|--|--|--------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>イ アクアラインの800円化について</p> <p>(ア) 今回の社会実験の費用について、首都圏とりわけ神奈川県と負担の相談をすべきであったと思うが経緯はどうだったのか。また、来年度からの負担も可能と思うがどうか。</p> | <p>1 東京湾アクアライン通行料金の引下げについては、長年、千葉県が積極的に進めてきた取組であり、本年4月の八都県市首脳会議においても千葉県から国策としての料金引下げを提案し、各都県市の賛同を得て国に要望したところです。</p> <p>2 この要望を早期に実現していくために、千葉県が費用を負担し、早急に社会実験に着手するなど、率先して行動を起こす必要があると判断したものです。</p> <p>3 また、来年度から他の都県市に負担を求めることについては、今回の社会実験は千葉県が主体となって進めたものであり、千葉県が首都圏をリードすることに繋がるものであることから、現時点では考えておりません。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |
| <p>(再質問)</p> <p>神奈川県、千葉県、どちらかが得をするのではなく、役割や貢献などを含めて話をして、両県民のために、役割に沿った負担が必要ではないか。それをまとめていくことがリーダーシップだと思うがどうか。</p>  | <p>東京湾アクアライン通行料金の引下げについて、社会実験に早期に着手するなど、千葉県が率先して行動を起こす必要があると判断し、費用を負担することとしました。</p>  | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 県土整備政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答弁者                 |
|--|---|---------------------|
| <p>（再質問）</p> <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（2）知事のマニフェストについて</p> <p>イ アクアライン 800 円化について。</p> <p>アクアラインが 800 円化することによって、東京湾フェリーが苦況に立たされている。この中で、東京湾フェリー側は、地上のインフラである国道に国と県が支援をするならば、海上インフラである東京湾フェリーにも同等の支援を要望している。知事は同じ千葉県の問題としてどう捉えているか。</p> | <p>1 航路存続のための支援については、国において、先般、千葉県、神奈川県、地元2市等と「東京湾フェリー航路対策検討会議」が開催されたところであります。</p> <p>2 今後、国、地元市等と連携して、対応を協議してまいりたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 道路計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨   | 答弁者                                       |
|--|--|---|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>イ アクアラインの800円化について</p> <p>(イ) 社会実験によりどの程度交通量の増加が得られれば、800円化が国策として実現するのか。また、本県の負担の継続など実験後の見通しはどうか。</p> <p>(再質問)</p> <p>料金引下げ社会実験の成功とはどのようなことか。</p> | <p>1 国策としての800円化の実現のためには、東京湾アクアラインの交通量の増加のみならず、首都圏における交通渋滞の緩和やCO<sub>2</sub>の削減効果の発現、物流の効率化や広域的な交流の促進、企業活動の活発化などに結びつけることが必要です。</p> <p>2 今後、社会実験を通じてこれらの実験を検証するとともに、八都府市での共同研究を進めながら、その効果を国にアピールして国策としての800円化に繋げていきたいと考えています。</p> <p>3 また、社会実験後の対応については、実験結果を踏まえて検討することとしており、現時点では、実験を成功させることに最大限の努力を払ってまいります。</p> <p>料金の引下げによって、京葉道路など湾岸部の交通渋滞の緩和やCO<sub>2</sub>削減などの環境対策、企業立地の促進、物流などの企業活動の活発化、観光客の増加、さらに、県外との人・物の動きの活発化による県内経済の活性化、このようなことを期待しております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> <p>県土整備部長<br/>橋場克司</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 交通計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨  | 答弁者                 |
|--|---|---------------------|
| <p>1.知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (2)知事のマニフェストについて<br/>                     ウ リニアモーターカーについて<br/>                     (ア)「千葉県、神奈川県リニア等超高速鉄道検討協議会」という名称からすれば、協議によってはリニアではなく超高速鉄道でもよいという考えか。</p> | <p>成田、羽田空港の一体化をより強固にし、両空港の共存共栄を実現するためには、リニアモーターカーが有効であると考えていますが、成田空港を利便性に富んだ真の国際空港にするためには、リニア方式に限定せず、幅広く検討することも必要と考えています。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 交通計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                    |
|--|--|--|
| <p>1.知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (2)知事のマニフェストについて<br/>                     ウ リニアモーターカーについて<br/>                     (イ)成田新高速鉄道とリニアとの関係は、どのようなすみわけになると理解したらよいか。</p> | <p>1 現在進められている成田新高速鉄道の整備は、都心から成田空港のアクセスの向上、千葉県北西部の交通利便性の向上、そして、成田市域と千葉ニュータウン地域の連携強化のために必要な事業だと認識しています。</p> <p>2 また、国において検討されている、短絡線整備などによる成田、羽田のアクセス改善は、両空港の一体的な活用を推進する上でも必要であると考えています。</p> <p>3 そして、成田、羽田の一体化をより強固にするリニア新線等の検討は、成田空港の更なる容量拡大と合わせ、わが国の国際競争力の強化を図り、日本経済全体を底上げする意味からも重要であると考えています。</p> | <p>知事<br/>                     森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般）

部（局・庁）課（室）名 警察本部地域部地域課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                   |
|--|---|-------------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>(2) 知事のマニフェストについて<br/>エ 移動交番について<br/>(ア) 今回の移動交番は、今までの移動交番とどのように違うのか。</p> | <p>現在の移動交番車は、専従の要員を配置しておらず、常時運用することが困難であることから、繁華街対策、祭礼警備、交通安全イベント等署情に応じて活用しているところであります。</p> <p>今後は、専従要員を確保して、交番設置要望箇所や犯罪多発地域等を中心に弾力的な運用を展開し、防犯ネットワークの強化と地域住民の安心感の醸成を図ってまいりたいと考えております。</p> | <p>警察本部長<br/>五十嵐 邦雄</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）一般

部（局・庁）課（室）名 警察本部地域部地域課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨  | 答弁者                     |
|--|---|-------------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>エ 移動交番について</p> <p>(イ) 補正予算では人員が配置されていないが、警察官1人当たりの負担が大きいきゃり県において、どう考えているのか。</p> | <p>移動交番車につきましては、1車当たり、最低、警察官2人が必要となることから、今回容認された移動交番車15台に乗車させる警察官30人の増員について、現在、関係部局と協議の上、部内で検討中であります。</p> | <p>警察本部長<br/>五十嵐 邦雄</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）一般

部（局・庁）課（室）名 警察本部地域部地域課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答弁要旨   | 答弁者                     |
|---|--|-------------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>(2) 知事のマニフェストについて<br/>エ 移動交番について<br/>(ウ) 事件発生や巡回要請等の対応を交番業務として遂行できるのか。</p> | <p>移動交番車は、赤色灯やサイレンを備えた緊急自動車であり、刺股、防護楯など事案対応に必要な装備を備えていることから、通常のパトカーと同様に急訴事案の処理や管内の巡回パトロールに応じることも可能であります。</p> | <p>警察本部長<br/>五十嵐 邦雄</p> |





平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般）

部（局・庁）課（室）名 警察本部地域部地域課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨   | 答 弁 要 旨         | 答 弁 者 |
|---|-----------------|-------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (2) 知事のマニフェストについて<br/>                     エ 移動交番について</p> <p>【要望】</p> <p>移動交番は、昭和41年から発<br/>                     足をしており、当時の交番の不足<br/>                     を補う大きな成果があったと聞いて<br/>                     いる。これは長年の中でいわゆ<br/>                     る移動交番を補完をする機能が充<br/>                     実をしてきた、ないしは、安全・<br/>                     安心の対策の中で違うことに重点<br/>                     を置かれてきたのだと思う。移動<br/>                     交番も大事だとは思いますが、先ほど<br/>                     言ったように、空き交番の解消や<br/>                     交番の設置は、地道だけれども今<br/>                     後も必要だろうと思うので続けて<br/>                     いただきたい。</p> | <p>(答弁を要せず)</p> |       |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 商工労働部保安課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答弁者                 |
|--|---|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>(2) 知事のマニフェストについて<br/>オ 鬼泪山国有林からの山砂採取について、どのように考えているのか。</p> | <p>1 豊かで美しい自然環境を守り、それらを未来の子どもたちに引き継いでいくことは、現代を生きる私たち世代に課せられた大きな責任と考えています。</p> <p>2 鬼泪山国有林104・105林班からの山砂採取についても千葉県土石採取対策審議会で、環境や景観など、さまざまな視点から十分慎重に審議をしていただけるものと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 商工労働部保安課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|---|--|---------------------|
| <p>【再質問】<br/>これから開催される土石採取対策審議会の結果を尊重していくと理解していいのか。</p> | <p>鬼泪山国有林104・105林班からの山砂採取については、現在、千葉県土石採取対策審議会で慎重に審議していただいているところであり、私からの意思表示は審議会に影響を与えることにもなりかねないので、差し控えさせていただきます。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 総務課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                                    |
|--|---|--|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (3) 知事は二重行政の解消について、どのように考えているのか。</p> | <p>1 県と市町村が同一地域内で同様な住民サービスを提供すること、いわゆる二重行政という問題は、経済性や効率性といった面から見直していかなければならない重要な課題と認識しています。</p> <p>2 一方で、高等学校や公立病院などのように、サービス需要の大きさへの対応や、提供するサービスの質的な違いから、県と市町村がお互いに連携・協力しながら実施していく必要があるものも少なくありません。</p> <p>3 今後とも、県民にとって、無駄がなく質の高いサービスを提供していくことを基本に、市町村との役割分担を進めるとともに、必要な相互連携を図ってまいりたいと考えています。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 県土整備政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                                     |
|---|---|---|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (4) 国の直轄事業負担金について<br/>                     ア 直轄事業負担金の内容を請求・精査したことがあるのか。<br/>                     あるのであれば、不明瞭な請求・支出をどのように把握しているのか。</p>   | <p>1 直轄事業の実施にあたっては、国と県との間で工事実施箇所や内容について、協議や意見交換を行う会議を開催するとともに、必要な協議については、個別に随時行っています。<br/>                     このように、事業の推進については、県としても十分な理解のもとに取り組んできたものと考えています。</p> <p>2 しかしながら、人件費や事務費等についての情報開示は、これまで十分でないところがあったと受け止めています。</p> <p>3 この点について、国は、全国知事会の申し入れを受け、平成20年度の実績見込や21年度の事業計画について、より詳細な内容を示したところでは、<br/>                     今後とも、必要な内容については、一層の情報開示を求めてまいりたいと考えています。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡 哲彦</p> |
| <p>（再質問）<br/>                     時事通信のアンケートに、千葉県は、開示の判断として、「不十分」、国に問い合わせた疑問点はあるかについて、「今後説明を聞く」、不適切と考えられる支出項目はあったかについて、「国の説明を聞いてから判断する」と回答しており、消極性が伺える。<br/>                     退職金、年金を直轄事業負担金として地方に負担を求めている実態があるが、このような問題を把握しているのか。</p> | <p>1 内容を把握しているのかについて、県としては、全国知事会で今プロジェクトチームをつかっており、基準作りに反映するため、意見を求められている。</p> <p>2 それに対し県は、補助事業と比較して、「退職手当が含まれている」、「事業費に対する業務取扱費及び人件費の比率が高い」ということが問題であると全国知事会に示している。</p> <p>3 消極的ではないかということについては、全国知事会において、国と地方との役割分担を明確化した上で最終的には直轄事業負担金制度を廃止することや、負担金のうち維持管理費は早急に廃止することなど、制度の見直しを求めているところである。</p> <p>4 本県もこのような形で早急にルールをつくっていくべきであると考えている。</p>                                 | <p>副知事<br/>                     石渡 哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 県土整備政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                     |
|--|--|---|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (4) 国の直轄事業負担金について<br/>                     イ 県単独事業に対する市町村の負担金については、他県よりも多くの負担を課していると聞くが、どのような見解に立っているのか。</p> | <p>1 市町村負担金については、地方財政法の規定により、県議会の議決を得て、主として日常生活に密着している事業について受益の範囲で負担をお願いしています。</p> <p>2 今後、国直轄事業負担金制度の見直しを踏まえて、市町村負担金についても必要な見直しを行っていきたいと考えています。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡 哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 県土整備政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答弁者                 |
|--|---|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(4) 国の直轄事業負担金について</p> <p>ウ 直轄事業負担金について、本県独自の対応はあるのか。</p> <p>さらに、市町村の負担については、コミュニケーションと納得が得られているのか。</p> | <p>1 直轄事業負担金の対象や範囲については、現在、全国知事会において、プロジェクトチームを設置して、新たな基準づくりに取り組んでいるところです。</p> <p>この点については、国と地方の対等な関係を築いていく観点から、地方に対する補助事業と整合性のとれたしくみになるよう、県としても全国知事会に申し入れているところです。</p> <p>2 直轄事業負担金制度の見直しにあたっては、全国知事会において統一的な対応をすることが重要と考えています。</p> <p>3 また、県事業における市町村の負担については、事前に十分な協議を行い、市町村からの要望を踏まえて、理解を得ながら、事業を実施しているところです。</p> | <p>副知事<br/>植田 浩</p> |



平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年 6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 監査委員事務局調整課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                  |
|--|---|------------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(5) 農林水産部の職員の不祥事について</p> <p>ア 県監査委員が、定期監査の中で特別に調査にはいるとのことだが、監査方針と本県による内部調査との関わりはどうか。</p> | <p>1 今回の事件等を踏まえて、県執行部では平成15年度から平成19年度会計までの調査を実施しているが、監査委員としては平成20年度会計について、例年の定期監査項目に加え、事件発生の主な原因と考えられる消耗品費の経理処理等について、事務局にプロジェクトチームを設け、調査を開始したところである。</p> <p>2 これらの調査を踏まえ、8月に本庁定期監査・決算審査を行うこととしており、その監査・審査結果については、9月に知事及び議長に報告することとしている。</p> | <p>代表監査委員<br/>袴田哲也</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 農林水産部 農林水産政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答弁者          |
|---|--|--------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（5）職員の不祥事について</p> <p>イ 本事件に係わる関係業者を含む緊急対応はどのように行ったのか。</p> | <p>1 本事件は、本人らの法規範意識の欠如に加えて、物品の発注、検査、管理に当たり、組織内部での相互けん制機能がほとんど働いていなかったことが最大の要因であると考えておりまして、即刻、内部けん制機能の強化と服務規律の厳守徹底について各所属長へ通知したところでございます。</p> | <p>石渡副知事</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部・課名 農林水産部農林水産政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者         |
|---|---|---------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (5) 農林水産部の職員の不祥事について<br/>                     ウ 国からの補助事業に係わる<br/>                     附帯事務費の「預け」の事実は、<br/>                     今日までの内部調査で確認されて<br/>                     いるのか。加えて制度上の問題を<br/>                     解決しなければならぬと思うが<br/>                     どうか。</p> | <p>1 農林水産部の経理問題については、<br/>                     県庁内部の経理問題特別調査が会計<br/>                     検査院の検査と連携して進められ<br/>                     ているところです。</p> <p>2 内部調査の結果については、会計<br/>                     検査院にも随時報告しておりますが、<br/>                     会計検査院では当該報告内容につ<br/>                     いて精査中であると聞いており、<br/>                     検査を受ける立場にある本県とし<br/>                     ては、現段階では、報告内容等につ<br/>                     いてお答えする状況ではありません。</p> <p>3 また、補助事業の執行にあたって<br/>                     は、計画的な事業執行と的確な予算<br/>                     管理により不用額の発生を可能な<br/>                     限り抑えるとともに、やむを得ず<br/>                     不用額が生じた場合には制度に則<br/>                     って処理するなど、適切に対処して<br/>                     まいります。</p> | <p>石渡副知事</p>  |
| <p>&lt;再質問&gt;<br/>                     ○ 国庫補助事業の17事業のうち<br/>                     16事業に全額執行し、不用額を<br/>                     出さずに使い切ることに<br/>                     ついて、見解を伺いたい。</p>  | <p>○ 国庫補助事業の執行につきましては、<br/>                     計画的な予算執行に努めるととも<br/>                     に、その適正な経理について十分<br/>                     に認識をするなど、適正に対応し<br/>                     てまいりたいと思います。</p>   | <p>農林水産部長</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 農林水産部 農林水産政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者         |
|--|--|---------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（5）職員の不祥事について</p> <p>エ 土地改良政治連盟への寄附金問題について、地方公務員法の適用外であっても、退職者を含めた実態解明調査が必要ではなかったのか。また、いつから寄附が始まり、寄附依頼が係わっていたか更なる調査が必要ではなかったのか。</p> <p>&lt;再質問&gt;</p> | <p>1 寄附金問題を報じました新聞記事を受けまして、平成20年の寄附の実態について、寄附金の働きかけを行ったと考えられる職員及び働きかけを受けたと考えられる職員から聞き取り調査を行いました。</p> <p>2 さらに、この調査の中で6、7年前から、同様な寄附金供与の働きかけが行われていたことがうかがわれたため、平成19年以前の状況についても、追加調査を行ったところあります。</p> <p>3 これらの調査の結果、寄附金供与の働きかけに関しまして、経路の特定及び関与した職員を把握し、これらの行為については、地方公務員法で禁止されている政治的行為に該当するため、去る6月1日に、関係職員16名に対して処分を行ったところあります。</p> | <p>石渡副知事</p>  |
| <p>○ 県は、退職者や土地改良政治連盟に対し、もう一度、詳細に調べる必要があるのではないか。</p>  | <p>○ 今回の調査で、働きかけの経緯と関係職員の関与については、把握できたものと考えています。</p>   | <p>農林水産部長</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答弁者                 |
|--|--|---------------------|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>(1) 財源のほとんどが国頼みと借金だが、継続性のない財源の多用は、財政再建に懸念を残すものと考えがどうか。</p> | <p>1 今回の6月補正予算では、現在の厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、国の経済危機対策に合わせまして速やかな対応を図ることとしております。</p> <p>このため、国の経済対策に係る国庫支出金や地方債につきましても、積極的に活用したところ です。</p> <p>2 今後とも、中長期的な視点に立って、計画的な財政運営に努めてまいります。</p> | <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|--|--|---------------------|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>(2) 人事委員会勧告を受け、職員及び特別職の賞与の減額が可決されたが、歳出予算から人件費が減額補正されていないのはなぜか。</p> | <p>今回の人事委員会勧告及び給与条例の改正は、職員の期末勤勉手当の支給割合を0.2か月分凍結するものですが、凍結分の取扱いについては、本年秋の勧告に基づき、必要な措置を講ずることとされています。</p> <p>このため、現段階では予算上は減額補正を行っておりません。</p> | <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                 |
|--|---|-----------------------|
| <p>（再質問）</p> <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>（2）人事委員会勧告を受け、職員及び特別職の賞与の減額が可決されたが、歳出予算から人件費が減額補正されていないのはなぜか。</p> <p>59億円凍結したので、秋に清算するという話であるが、一般会計に「凍結」という概念はない。実際に今議会中に減額の賞与が支給される、減額されて執行されるわけだから、減額補正をしなければならない。予算は、県民に対する情報公開であり、誠実に執行すべき、減額すべきであると思うがどうか。</p> | <p>今回の人事委員会勧告及び給与条例の改正は、職員の期末勤勉手当の支給割合を0.2か月分凍結するものでございますが、凍結分の取扱いにつきましては、本年秋の勧告に基づいて行うということとされております。</p> <p>また、この部分についての交付税措置がどうなるかということにつきまして、まだ国において明確な方針が出ておりませんので、こういうことも含めまして、現段階では予算上は減額補正を行っておりません。</p> | <p>総務部長<br/>小宮大一郎</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 道路計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者              |
|--|--|--------------------|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>(3) 東関東自動車道館山線の4車線化工事計画がまだ明らかになっていない状況で、直轄事業負担分を今年度だけで全額予算化することはどういうことか。さらに工事費の増額があった場合、負担金の増額はあるのか。</p> | <p>1 東関東自動車道館山線については、渋滞が多く発生している状況から、これまでも、県としては、4車線化について、国へ強く要望を続けてきたところです。</p> <p>2 このような中、国が経済危機対策の補正予算として、今回、4車線化に要する事業費を、新たな整備手法により一括して予算計上したところであり、県としてもその事業費に対し負担しようとする ものです。</p> <p>3 また、工事費増額の可能性については、既に4車線化分の用地が確保されていること、過去に暫定2車線での工事实績があることなどの点から、大きな変動は無いものと考えていますが、更なるコスト縮減が図られるように、事業者に対して要請してまいります。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |



平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

〔代表〕・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 学事課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                    |
|--|--|--|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について<br/>                     (4) 私学助成について、国の標準単価の増加分を差し引いた県単独の上乗せ分は、実質いくらか。さらに、今後の私学振興にどのように取り組むのか。</p> | <p>1 大変厳しい財政状況の中、私学助成の充実のため、今回、私立学校経常費の補助単価につきまして、小・中学校を、国の標準単価まで引き上げるとともに、高校と幼稚園につきましては、平成16年度に廃止されました県単独の補助単価の上乗せを、高校で3千円、幼稚園で3百円、それぞれ復活させることといたしました。</p> <p>2 それによりまして、国の標準単価の増加分を差し引いた、県単独の上乗せ額として、高校で1億3千7百万円、幼稚園で2千5百万円、併せまして1億6千2百万円の増額となっております。</p> <p>3 今後とも、本県私学教育の一層の発展と、保護者の経済的負担の軽減を図るため、私学助成の充実に向け努力してまいります。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部児童家庭課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                   |
|--|--|---|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>(5) 保育所整備促進事業について</p> <p>ア 今年度の保育所の施設整備について、どのような見通しを立てているのか。</p> <p>イ 来年度も同程度の県単独臨時加算金で事業を促進していくのか。</p> | <p>1 県では、国の交付金を財源として、平成22年度までの間、保育所を重点整備するために、平成20年度2月補正において「安心こども基金」を造成し、それを活用することで待機児童の早期解消に向けた取り組みを行うこととしております。</p> <p>さらに、県単独助成を加算することで、保育所の施設整備を促進することとしています。</p> <p>2 保育所の整備については、保育の実施主体である市町村が地域の保育需要にあわせて計画的に整備を進めることになっているため、市町村調査を行い、その結果15か所程度の整備を見込んでいるところでございます。</p> <p>3 現在、具体的な協議を進めているところですが、今年度の整備によって来年4月以降おおむね1,000人分の定員が確保できるものと考えております。</p> <p>来年度の事業実施にあたっては、今年度の整備状況や市町村の要望を調査した上で、連携を図りながら、待機児童解消に向けて整備の促進を図っていきたいと考えております。</p> | <p>副知事<br/>植田 浩</p> <p>副知事<br/>植田 浩</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|--|---|--------------------|
| <p>3. 財政問題について<br/>(1) 本県の財政状況についての認識はどうか。</p> | <p>本県の財政状況は、<br/>(1) 歳入の中心となる県税が、景気の悪化により大幅に落ち込む一方で、人件費や社会保障費などの義務的経費が増加を続けていること<br/>(2) 県債残高が今年度末で2兆6,900億円となる見込みであること<br/>(3) 財政調整基金の残高がゼロであることなど、極めて厳しい状況にあるものと認識しております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|---|---|--------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(2) 臨時財政対策債の受け止め方も踏まえて「借金を増やさないように頑張る」について政策的な考え方をお聞かせ願いたい。</p> | <p>1 県債残高を増やさないという方針について、就任当時と変わってはおりません。</p> <p>2 ただし、臨時財政対策債については、地方交付税の振り替えであり、地方財政制度上発行せざるを得ないことから、こうした地方債を除く、いわゆる建設地方債等について、発行を抑制していきたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                                    |
|---|---|--|
| <p>（再質問）</p> <p>3. 財政問題について</p> <p>（2）臨時財政対策債の受け止め方も踏まえて「借金を増やさないように頑張る」について政策的な考え方をお聞かせ願いたい。</p> <p>借金は2兆6,000億円を超え、利息の7,000億円を入ると3兆4,000億円を超える額を返さなければならない増やさないということはたいへんな努力であると思う。</p> <p>ただ、今回の補正予算だけでも、臨時財政対策債を除いただけでも、230億円近くある。</p> <p>臨財債が110億円、その他が238億円。そのうち補正予算債が63億円ある。補正予算ですら借金を残した。このことについて、見解を。</p> <p>また、退職手当債は100%県の借金であり、そのピークが平成27年。これまで、県は退職手当のための積立はしていない。そのつど、財源措置をしていかなければならない。これも借金で賄わなければならないような状態である。</p> <p>このように借金を増やさないことは難しいが、感想はどうか。</p> | <p>臨時財政対策債は交付税の振り替えと認識しています。</p> <p>これまでも、その償還については交付税で措置されてきており、今後もそうであると考えております。</p> <p>いずれにしても、県としてできること、すなわち臨時財政対策債を除く、いわゆる建設地方債等の残高については、減らすように努めてまいります。</p> <p>臨財債、退職手当債も含めた財政の健全化について、議員ご指摘のとおり、臨財債、退手債、5条債、公共的な地方債を含めまして、財政健全化のために適正な県債管理をしていきたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> <p>総務部長<br/>小宮大一郎</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨   | 答弁者                |
|--|--|--------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(3) マニフェストの中で「県の収入全体を上げることに全力を注ぎます。」とあるが、どのような構想なのか。</p> | <ol style="list-style-type: none"><li>1 現在のような経済危機の状況において、まず行うべきことは、千葉県の持つ力を引き出し、千葉県を元気にするための政策を積極的に実行していくことです。</li><li>2 東京湾アクアラインの値下げをはじめ、企業誘致の促進や産業の振興などの施策を着実に実行することで、県内経済の活性化を図り、千葉県全体の富を増やし、これにより、県の収入増加につなげていきたいと考えております。</li></ol> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                 |
|--|---|-----------------------|
| <p>（再質問）</p> <p>3. 財政問題について</p> <p>（3）マニフェストの中で「県の収入全体を上げることに全力を注ぎます。」とあるが、どのような構想なのか。</p> <p>県税を増やす、県の収入全体を増やすという話であるが、考えられるのは法人二税、軽油引取税、交付金、県有地の売却等いろいろあるが、県税100億円増やすと交付税が75億円減らされる。25億円しか残らない。</p> <p>1,000億円の県税を伸ばす作業はたいへんなことで、一体どれだけのことをしなければならぬか。</p> <p>たった、250億円を残すだけでも1,000億円の税金の増加が必要であるという実態について、どう考えるのか。</p> | <p>現在行うべきことは、千葉県を持つちからを引き出して、千葉県全体が活力を取り戻すための政策を実行し、民間を含めた千葉県全体の富をしっかりと増やしていくことをごさいます。それが結果的には、県の歳入増加につながるものと考えております。</p> <p>交付税制度について、税収を増やしても75%は交付税が減るということですが、財政調整制度という交付税制度の中で、仮に税が増えた分100%交付税が減ることになれば、自治体が徴収努力をしにくくなるということがあります。</p> <p>逆に、交付税制度がないということになると、財政力の弱い過疎団体等において適正な財政運営ができないということになり、そうした中で現在の75%という交付税算入率が定められておりますので、ご理解いただきたいと存じます。</p> | <p>総務部長<br/>小宮大一郎</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨                           | 答 弁 者              |
|--|-----------------------------------|--------------------|
| <p>（再々質問）</p> <p>3. 財政問題について</p> <p>（3）マニフェストの中で「県の収入全体を上げることに全力を注ぎます。」とあるが、どのような構想なのか。</p> <p>県の収入を上げるといったときに、県税を100億増やしても75億が交付税で引かれるのであれば、結果は25億しか残らない。だから、本当に力をつけるにはどれだけの努力が必要だという現実的な話をした。</p> <p>意気込みや情熱だけではなくて、冷静に、どれだけ税金を増やしたら、どれだけ残るのか。増やした分だけ残らない現状があるから、100億増やしても25億しか残らないという構造的な問題を承知いただきたい。その感想を聞かせていただきたい。</p> | <p>それでも県税収入を増やすことは大事であると思います。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |



平成 21 年 6 月 定例 県 議 会 ( 本 会 議 ) に お け る 答 弁 要 旨

( 質 問 日 : 平 成 2 1 年 6 月 1 7 日 )

( 代 表 ) ・ 一 般

部 ( 局 ・ 庁 ) ・ 課 ( 室 ) 名 総 務 部 税 務 課

質 問 者 民 主 党 田 中 信 行 議 員

| 質 問 要 旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                   |
|---|--|---|
| <p>3. 財政問題について<br/>                     (4) 県税の収入未済金の回収について<br/>                     ア. 県税の滞納状況をどのように分析し、また、21年度はどのように対応するのか。</p> | <p>1 県税の滞納額については、税源移譲を主な原因として、平成19年度から大幅に増加しており、19年度末の県税滞納額325億円のうち、約54パーセントを占める175億円が個人県民税であります。<br/>                     また、個人県民税以外の県税にあっても150億円と多額であり、このうち30万円以上の高額滞納が約46パーセントを占めています。</p> <p>2 このため、19年度から「千葉県滞納整理推進機構」を設置し、個人県民税の滞納整理を推進するとともに、これ以外の県税にあっては、20年度から、高額滞納を専門に処理する職員を増員し、徴収強化に取り組んできたところであります。</p> <p>3 これらの対応は、一定の成果を挙げているものと認識しており、21年度にあっても同様の取組みを行うものですが、今後は、より効率的かつ効果的な取組みを実施するなど、一層の徴収強化に努め、滞納額の縮減を図ってまいります。</p> | <p>知事<br/>                     森田健作</p> |

平成 21 年 6 月 定例 県 議 会 ( 本 会 議 ) に お け る 答 弁 要 旨

( 質 問 日 : 平 成 2 1 年 6 月 1 7 日 )

( 代 表 ) ・ 一 般

部 ( 局 ・ 庁 ) ・ 課 ( 室 ) 名 総 務 部 税 務 課

質 問 者 民 主 党 田 中 信 行 議 員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                    |
|--|--|--|
| <p>3. 財政問題について<br/>                     ( 4 ) 県 税 の 収 入 未 済 金 の 回 収 に つ い て<br/>                     イ. これまで提案してきた一部事務組合としての滞納整理推進機構を創設し、市町村税を含む滞納未収金の回収に取り組む必要があると思うがどうか。</p> | <p>1 一部事務組合を設立するには、関係市町村の合意形成が必要ですが、それぞれの状況が異なることや新たな財政負担が生じることなどもあり、なかなか難しい問題であります。</p> <p>2 一方、現在の滞納整理推進機構は任意組織ではありますが、県下全市町村が参画しています。また、その成果についても、一定のものを挙げていると考えています。</p> <p>3 いずれにしても、個人の県民税や市町村民税の滞納は多額であり、市町村はもとより、県にとっても大きな問題であることから、22年度以降の滞納整理推進機構のあり方について、現在、市町村とともに検討しているところです。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行、議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答弁者                 |
|--|--|---------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(5) 全ての基金の規定から繰替運用条項を削除すべきであるかどうか。</p> | <p>1 基金に属します現金につきましては、地方自治法において、確実かつ効率的に運用することと定められております。</p> <p>この運用につきましては、一般会計などへの貸付けも可能であるとされていることから、各基金条例においては繰替運用の規定を設けているところであります。</p> <p>2 ただし、一般会計の財源対策として、複数年度にわたる繰替運用を行うことにつきましては、基金の趣旨から見て望ましくないということから、平成20年度中にその全額を解消したところであります。</p> | <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|--|---|--------------------|
| <p>3. 財政問題について<br/>(6) 今回示された財政健全化計画で、計画名を「健全化」とした理由は何か。</p> | <p>依然として厳しい財政状況が続く中、県財政の「健全化」を図ることは、県政の最も重要な課題であると考えております。</p> <p>このために、早急に事務・事業の大胆な見直しを行い、今年度中に新たな財政健全化計画を策定してまいります。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|--|---|--------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(7) 財政健全化計画における財源確保について、今の段階で基本的な考え方・方針はあるか。</p> | <p>財源確保策については、今後、財政健全化計画を策定していく中で検討することになりますが、現時点では、</p> <p>(1) 県内経済の活性化を図り、今後の税収増を図ること</p> <p>(2) 収入歩合の向上など、県税収入の確保を図ること</p> <p>(3) 事務・事業の見直しなどにより、コストの縮減を図ること</p> <p>などが考えられます。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者              |
|--|--|--------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(8) 「財政健全化計画」、「行政改革計画」、「総合計画」の三計画の策定にあたり、知事はどこに軸足を置いて県政を方向付けるのか。</p> | <p>1  厳しい経済情勢や財政情勢の中、県政の重要施策を着実に推進していくため、県政運営の基本方針となる「総合計画」と、これを支える「行政改革計画」や「財政健全化計画」を策定していく必要があります。</p> <p>2  この3つの計画の策定に当たっては、今後の財政見通しを踏まえ、横断的かつ総合的に調整しながら、より整合性と実効性のあるものとしてまいりたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成 21 年 6 月 定例 県 議 会 ( 本 会 議 ) に お け る 答 弁 要 旨

( 質 問 日 : 平 成 2 1 年 6 月 1 7 日 )

( 代 表 ) ・ 一 般

部 ( 局 ・ 庁 ) ・ 課 ( 室 ) 名

総務部総務課

質 問 者 民 主 党 田 中 信 行 議 員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                  |
|--|---|------------------------|
| <p>4. 21年度は収支均衡となるとの年間収支見通しを立てている中、賞与削減分59億円が人件費により減額補正されていないことや、更なる給与・賞与カットの勧告も予想されることから、人件費独自削減措置を再延長すべきではないと思うがどうか。</p> | <p>1 21年度の年間収支については、退職手当債や行政改革推進債の発行などの特例的な財源対策を行ったことなどにより、現段階では、なんとか収支均衡が図られるものと見込んでいます。</p> <p>2 しかしながら、昨年来の急速な景気の悪化に伴う厳しい県内の経済・雇用情勢やそれに伴う今後の財政運営への影響も懸念される所です。</p> <p>3 このような状況を総合的に勘案し検討したところ、給与減額措置を現時点で終了できる状況にないという判断に至ったものです。</p> | <p>千葉県知事<br/>森田 健作</p> |

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答弁要旨  | 答弁者                 |
|---|---|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>ア 手続き上の問題で、自民党東京都衆議院選挙区第2支部の解散や自民党離党が2ヶ月も延滞していることは、県民に「選挙時の誤解」と「不信」を招いていると思うが、道義的な責任も踏まえて見解を伺いたい。</p> | <p>1 昨年12月末の政治資金規正法の改正により、収支報告書の提出には、新たに設けられた「登録政治資金監査人」の監査が必要とされたことなどから、解散手続きは、時間的にきわめて難しい状況でした。</p> <p>2 なお、監査人が見つかりましたので、7月初旬を目途に支部を解散することとしております。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |



## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般)

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|---|--|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>イ 自民党東京都衆議院選挙区第2支部の資金が選挙資金に使われていないか疑念を晴らすために、支部及び後援会の収支報告を当該期間を限定して個人的に事前公開するつもりはないか。</p> | <p>1 政党支部は、現在、7月初旬を目途に解散手続きを進めているところであり、収支報告書は解散手続き完了後、政治資金規正法に基づき、しかるべき時期に公開されると思います。</p> <p>2 後援会の収支報告書については、法に従って、年が終了した際に報告を行い、従来通りに公開させていただく予定です。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般)

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答弁要旨   | 答弁者                 |
|---|--|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>ウ 課税上の問題や、相手方が教育関連団体であることも踏まえ、講演料の処理に問題があったと思うがどうか。</p> | <p>1 講演については、基本的には事務所である森田健作政経懇話会に依頼があり、講演料も事務所にお振込みいただいておりますので、政治資金規正法に従って適正に処理を行ってきたところです。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答弁要旨  | 答弁者                 |
|---|---|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>エ 自民党東京都衆議院選挙区第2支部は、今年ないしは選挙告示以後は、政治献金の受付を含む支部活動はしていないと理解してよいか。</p> | <p>1 政党支部の解散については、出馬表明をした時から、解散手続きを行うよう事務所に指示しました。</p> <p>2 また、無所属での出馬を表明した以降の政党支部への献金は、すべて返金するとともに、選挙に政党支部からの財政的支援は受けておりません。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

## 平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

(質問日：平成21年6月17日)

(代表) 一般)

部(局・庁)・課(室)名 総合企画部 知事室

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨   | 答弁者                 |
|--|--|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(1) 完全無所属と政治資金の流れの公表について</p> <p>(再質問)</p> <p>今年はじめから出馬表明までの間、資金提供もあったけれどもそれは返却した旨の答弁があったが、このとおりでよいのか。</p> <p>個人的に事前公開をしたらどうかというようにお話ししたが、しないということではどうか。</p> <p>支部の解散は党本部のいわゆる機関に任せて、代理執行者で解散はできなかったのか。</p> <p>(再々質問)</p> <p>支部の解散手続きの完了時に収支報告を個人的に公開しないのか。</p> | <p>出馬表明するまでの政治献金は返金していませんが、出馬表明した以降の政治献金は返金しております。</p> <p>政治資金規正法に基づき公表させていただきたいと考えております。</p> <p>事務所スタッフの人数が確保できなかったため、ご質問のような手続きができませんでした。</p> <p>告発の捜査の妨げにもなりかねないことから、法に基づき公表させていただきたいと考えています。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者              |
|---|--|--------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>ア マニフェストの実現を県行政の目的とする予算編成の考え方は、県執行部の単独の判断なのか、それとも知事自身が指示したものなのか。</p> | <p>1 マニフェストは、候補者たる私が選挙の際、県民に掲げた公約であり、知事としての私が、その実現に努めることは当然のことと考えております。</p> <p>2 なお、予算編成の基本的な考え方は、県の方針として、知事である私が定めたものであります。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|--|---|--------------------|
| <p>（再質問）</p> <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（2）知事のマニフェストについて</p> <p>ア マニフェストの実現を県行政の目的とする予算編成の考え方は、県執行部の単独の判断なのか、それとも知事自身が指示したものなのか。</p> <p>県政の、補正予算の基本的考え方に「マニフェストを実現させるため」という言葉があり、これを知事が定めた。</p> <p>マニフェストはマニフェストであり、これをすべて丸呑みして行政の目的にするのか、それとも、これを精査してやっていくのか。行政の目的ないし、行政の展開のなかに、必要だ、緊急だ、これはもっと精査が必要だ、というすみ分けを本来しなければならないと思うが、こういう作業を行ったのか。</p> | <p>今後、県政運営に当たっての基本的な方針として、今年度中に総合計画を策定することとしており、この計画を基に県政を進めてまいりたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                  |
|---|--|--|
| <p>（再々質問）</p> <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（2）知事のマニフェストについて</p> <p>ア マニフェストの実現を県行政の目的とする予算編成の考え方は、県執行部の単独の判断なのか、それとも知事自身が指示したものなのか。</p> <p>マニフェストを本当に実現させることが県の基本的な考え方なのか。</p> <p>すべてを基本的な方針にするのか、精査しないのか。</p> | <p>総合計画の策定に当たって、マニフェストに掲げた事業も含めて、今後内容を十分検討しながら、策定したいと考えております。</p> <p>知事が答弁したとおり、マニフェストそのものをやろうとは思ってはいません。これは知事が選挙にあたり訴えてきたことであるので、これをいかに県政として実現するかということにつきましては、マニフェストを基本として、それを現実化する方策を十分検討した上で、県の計画としていくというのが筋であると思っています。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 道路計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答弁者                |
|--|--|--------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>イ アクアラインの800円化について</p> <p>(ア) 今回の社会実験の費用について、首都圏とりわけ神奈川県と負担の相談をすべきであったと思うが経緯はどうだったのか。また、来年度からの負担も可能と思うがどうか。</p> | <p>1 東京湾アクアライン通行料金の引下げについては、長年、千葉県が積極的に進めてきた取組であり、本年4月の八都県市首脳会議においても千葉県から国策としての料金引下げを提案し、各都県市の賛同を得て国に要望したところです。</p> <p>2 この要望を早期に実現していくために、千葉県が費用を負担し、早急に社会実験に着手するなど、率先して行動を起こす必要があると判断したものです。</p> <p>3 また、来年度から他の都県市に負担を求めることについては、今回の社会実験は千葉県が主体となって進めたものであり、千葉県が首都圏をリードすることに繋がるものであることから、現時点では考えておりません。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |
| <p>(再質問)</p> <p>神奈川県、千葉県、どちらかが得をするのではなく、役割や貢献などを含めて話をして、両県民のために、役割に沿った負担が必要ではないか。それをまとめていくことがリーダーシップだと思うがどうか。</p>  | <p>東京湾アクアライン通行料金の引下げについて、社会実験に早期に着手するなど、千葉県が率先して行動を起こす必要があると判断し、費用を負担することとしました。</p>  | <p>知事<br/>森田健作</p> |



平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 県土整備政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答弁者                 |
|--|---|---------------------|
| <p>（再質問）</p> <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（2）知事のマニフェストについて</p> <p>イ アクアライン 800 円化について。</p> <p>アクアラインが 800 円化することによって、東京湾フェリーが苦況に立たされている。この中で、東京湾フェリー側は、地上のインフラである国道に国と県が支援をするならば、海上インフラである東京湾フェリーにも同等の支援を要望している。知事は同じ千葉県の問題としてどう捉えているか。</p> | <p>1 航路存続のための支援については、国において、先般、千葉県、神奈川県、地元2市等と「東京湾フェリー航路対策検討会議」が開催されたところであります。</p> <p>2 今後、国、地元市等と連携して、対応を協議してまいりたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 道路計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨   | 答弁者                                       |
|--|--|---|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>イ アクアラインの800円化について</p> <p>(イ) 社会実験によりどの程度交通量の増加が得られれば、800円化が国策として実現するのか。また、本県の負担の継続など実験後の見通しはどうか。</p> <p>(再質問)</p> <p>料金引下げ社会実験の成功とはどのようなことか。</p> | <p>1 国策としての800円化の実現のためには、東京湾アクアラインの交通量の増加のみならず、首都圏における交通渋滞の緩和やCO<sub>2</sub>の削減効果の発現、物流の効率化や広域的な交流の促進、企業活動の活発化などに結びつけることが必要です。</p> <p>2 今後、社会実験を通じてこれらの実験を検証するとともに、八都府市での共同研究を進めながら、その効果を国にアピールして国策としての800円化に繋げていきたいと考えています。</p> <p>3 また、社会実験後の対応については、実験結果を踏まえて検討することとしており、現時点では、実験を成功させることに最大限の努力を払ってまいります。</p> <p>料金の引下げによって、京葉道路など湾岸部の交通渋滞の緩和やCO<sub>2</sub>削減などの環境対策、企業立地の促進、物流などの企業活動の活発化、観光客の増加、さらに、県外との人・物の動きの活発化による県内経済の活性化、このようなことを期待しております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> <p>県土整備部長<br/>橋場克司</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 交通計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨  | 答弁者                                      |
|--|---|--|
| <p>1.知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (2)知事のマニフェストについて<br/>                     ウ リニアモーターカーについて<br/>                     (ア)「千葉県、神奈川県リニア等超高速鉄道検討協議会」という名称からすれば、協議によってはリニアではなく超高速鉄道でもよいという考えか。</p> | <p>成田、羽田空港の一体化をより強固にし、両空港の共存共栄を実現するためには、リニアモーターカーが有効であると考えていますが、成田空港を利便性に富んだ真の国際空港にするためには、リニア方式に限定せず、幅広く検討することも必要と考えています。</p> | <p>知事<br/>                     森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 交通計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                    |
|--|--|--|
| <p>1.知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (2)知事のマニフェストについて<br/>                     ウ リニアモーターカーについて<br/>                     (イ)成田新高速鉄道とリニアとの関係は、どのようなすみわけになると理解したらよいか。</p> | <p>1 現在進められている成田新高速鉄道の整備は、都心から成田空港のアクセスの向上、千葉県北西部の交通利便性の向上、そして、成田市域と千葉ニュータウン地域の連携強化のために必要な事業だと認識しています。</p> <p>2 また、国において検討されている、短絡線整備などによる成田、羽田のアクセス改善は、両空港の一体的な活用を推進する上でも必要であると考えています。</p> <p>3 そして、成田、羽田の一体化をより強固にするリニア新線等の検討は、成田空港の更なる容量拡大と合わせ、わが国の国際競争力の強化を図り、日本経済全体を底上げする意味からも重要であると考えています。</p> | <p>知事<br/>                     森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般）

部（局・庁）課（室）名 警察本部地域部地域課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨  | 答弁者                     |
|--|---|-------------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>(2) 知事のマニフェストについて<br/>エ 移動交番について<br/>(ア) 今回の移動交番は、今までの移動交番とどのように違うのか。</p> | <p>現在の移動交番車は、専従の要員を配置しておらず、常時運用することが困難であることから、繁華街対策、祭礼警備、交通安全イベント等署情に応じて活用しているところであります。</p> <p>今後は、専従要員を確保して、交番設置要望箇所や犯罪多発地域等を中心に弾力的な運用を展開し、防犯ネットワークの強化と地域住民の安心感の醸成を図ってまいりたいと考えております。</p> | <p>警察本部長<br/>五十嵐 邦雄</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）一般

部（局・庁）課（室）名 警察本部地域部地域課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨  | 答弁者                     |
|--|---|-------------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>エ 移動交番について</p> <p>(イ) 補正予算では人員が配置されていないが、警察官1人当たりの負担が大きいきゃり県において、どう考えているのか。</p> | <p>移動交番車につきましては、1車当たり、最低、警察官2人が必要となることから、今回容認された移動交番車15台に乗車させる警察官30人の増員について、現在、関係部局と協議の上、部内で検討中であります。</p> | <p>警察本部長<br/>五十嵐 邦雄</p> |







平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般）

部（局・庁）課（室）名 警察本部地域部地域課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨   | 答 弁 要 旨         | 答 弁 者 |
|---|-----------------|-------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (2) 知事のマニフェストについて<br/>                     エ 移動交番について</p> <p>【要望】</p> <p>移動交番は、昭和41年から発<br/>                     足をしており、当時の交番の不足<br/>                     を補う大きな成果があったと聞いて<br/>                     いる。これは長年の中でいわゆ<br/>                     る移動交番を補完をする機能が充<br/>                     実をしてきた、ないしは、安全・<br/>                     安心の対策の中で違うことに重点<br/>                     を置かれてきたのだと思う。移動<br/>                     交番も大事だとは思いますが、先ほど<br/>                     言ったように、空き交番の解消や<br/>                     交番の設置は、地道だけれども今<br/>                     後も必要だろうと思うので続けて<br/>                     いただきたい。</p> | <p>(答弁を要せず)</p> |       |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 商工労働部保安課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答弁者                 |
|--|---|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(2) 知事のマニフェストについて</p> <p>オ 鬼泪山国有林からの山砂採取について、どのように考えているのか。</p> | <p>1 豊かで美しい自然環境を守り、それらを未来の子どもたちに引き継いでいくことは、現代を生きる私たち世代に課せられた大きな責任と考えています。</p> <p>2 鬼泪山国有林104・105林班からの山砂採取についても千葉県土石採取対策審議会で、環境や景観など、さまざまな視点から十分慎重に審議をしていただけるものと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 商工労働部保安課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|---|--|---------------------|
| <p>【再質問】<br/>これから開催される土石採取対策審議会の結果を尊重していくと理解していいのか。</p> | <p>鬼泪山国有林104・105林班からの山砂採取については、現在、千葉県土石採取対策審議会で慎重に審議していただいているところであり、私からの意思表示は審議会に影響を与えることにもなりかねないので、差し控えさせていただきます。</p> | <p>知事<br/>森田 健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 総務課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                                    |
|--|---|--|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (3) 知事は二重行政の解消について、どのように考えているのか。</p> | <p>1 県と市町村が同一地域内で同様な住民サービスを提供すること、いわゆる二重行政という問題は、経済性や効率性といった面から見直していかなければならない重要な課題と認識しています。</p> <p>2 一方で、高等学校や公立病院などのように、サービス需要の大きさへの対応や、提供するサービスの質的な違いから、県と市町村がお互いに連携・協力しながら実施していく必要があるものも少なくありません。</p> <p>3 今後とも、県民にとって、無駄がなく質の高いサービスを提供していくことを基本に、市町村との役割分担を進めるとともに、必要な相互連携を図ってまいりたいと考えています。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 県土整備政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                                     |
|---|---|---|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (4) 国の直轄事業負担金について<br/>                     ア 直轄事業負担金の内容を請求・精査したことがあるのか。<br/>                     あるのであれば、不明瞭な請求・支出をどのように把握しているのか。</p>   | <p>1 直轄事業の実施にあたっては、国と県との間で工事実施箇所や内容について、協議や意見交換を行う会議を開催するとともに、必要な協議については、個別に随時行っています。<br/>                     このように、事業の推進については、県としても十分な理解のもとに取り組んできたものと考えています。</p> <p>2 しかしながら、人件費や事務費等についての情報開示は、これまで十分でないところがあったと受け止めています。</p> <p>3 この点について、国は、全国知事会の申し入れを受け、平成20年度の実績見込や21年度の事業計画について、より詳細な内容を示したところでは、<br/>                     今後とも、必要な内容については、一層の情報開示を求めてまいりたいと考えています。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡 哲彦</p> |
| <p>（再質問）<br/>                     時事通信のアンケートに、千葉県は、開示の判断として、「不十分」、国に問い合わせた疑問点はあるかについて、「今後説明を聞く」、不適切と考えられる支出項目はあったかについて、「国の説明を聞いてから判断する」と回答しており、消極性が伺える。<br/>                     退職金、年金を直轄事業負担金として地方に負担を求めている実態があるが、このような問題を把握しているのか。</p> | <p>1 内容を把握しているのかについて、県としては、全国知事会で今プロジェクトチームをつかっており、基準作りに反映するため、意見を求められている。</p> <p>2 それに対し県は、補助事業と比較して、「退職手当が含まれている」、「事業費に対する業務取扱費及び人件費の比率が高い」ということが問題であると全国知事会に示している。</p> <p>3 消極的ではないかということについては、全国知事会において、国と地方との役割分担を明確化した上で最終的には直轄事業負担金制度を廃止することや、負担金のうち維持管理費は早急に廃止することなど、制度の見直しを求めているところである。</p> <p>4 本県もこのような形で早急にルールをつくっていくべきであると考えている。</p>                                 | <p>副知事<br/>                     石渡 哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 県土整備政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                     |
|--|--|---|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (4) 国の直轄事業負担金について<br/>                     イ 県単独事業に対する市町村の負担金については、他県よりも多くの負担を課していると聞くが、どのような見解に立っているのか。</p> | <p>1 市町村負担金については、地方財政法の規定により、県議会の議決を得て、主として日常生活に密着している事業について受益の範囲で負担をお願いしています。</p> <p>2 今後、国直轄事業負担金制度の見直しを踏まえて、市町村負担金についても必要な見直しを行っていきたいと考えています。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡 哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 県土整備政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答弁者                 |
|--|---|---------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(4) 国の直轄事業負担金について</p> <p>ウ 直轄事業負担金について、本県独自の対応はあるのか。</p> <p>さらに、市町村の負担については、コミュニケーションと納得が得られているのか。</p> | <p>1 直轄事業負担金の対象や範囲については、現在、全国知事会において、プロジェクトチームを設置して、新たな基準づくりに取り組んでいるところです。</p> <p>この点については、国と地方の対等な関係を築いていく観点から、地方に対する補助事業と整合性のとれたしくみになるよう、県としても全国知事会に申し入れているところです。</p> <p>2 直轄事業負担金制度の見直しにあたっては、全国知事会において統一的な対応をすることが重要と考えています。</p> <p>3 また、県事業における市町村の負担については、事前に十分な協議を行い、市町村からの要望を踏まえて、理解を得ながら、事業を実施しているところです。</p> | <p>副知事<br/>植田 浩</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年 6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 監査委員事務局調整課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答弁要旨  | 答弁者                    |
|--|---|------------------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>(5) 農林水産部の職員の不祥事について</p> <p>ア 県監査委員が、定期監査の中で特別に調査にはいるとのことだが、監査方針と本県による内部調査との関わりはどうか。</p> | <p>1 今回の事件等を踏まえて、県執行部では平成15年度から平成19年度会計までの調査を実施しているが、監査委員としては平成20年度会計について、例年の定期監査項目に加え、事件発生の主な原因と考えられる消耗品費の経理処理等について、事務局にプロジェクトチームを設け、調査を開始したところである。</p> <p>2 これらの調査を踏まえ、8月に本庁定期監査・決算審査を行うこととしており、その監査・審査結果については、9月に知事及び議長に報告することとしている。</p> | <p>代表監査委員<br/>袴田哲也</p> |



平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 農林水産部 農林水産政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答弁者          |
|---|--|--------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（5）職員の不祥事について</p> <p>イ 本事件に係わる関係業者を含む緊急対応はどのように行ったのか。</p> | <p>1 本事件は、本人らの法規範意識の欠如に加えて、物品の発注、検査、管理に当たり、組織内部での相互けん制機能がほとんど働いていなかったことが最大の要因であると考えておりまして、即刻、内部けん制機能の強化と服務規律の厳守徹底について各所属長へ通知したところでございます。</p> | <p>石渡副知事</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部・課名 農林水産部農林水産政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者         |
|---|---|---------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について<br/>                     (5) 農林水産部の職員の不祥事について<br/>                     ウ 国からの補助事業に係わる<br/>                     附帯事務費の「預け」の事実は、<br/>                     今日までの内部調査で確認されて<br/>                     いるのか。加えて制度上の問題を<br/>                     解決しなければならぬと思うが<br/>                     どうか。</p> | <p>1 農林水産部の経理問題については、<br/>                     県庁内部の経理問題特別調査が会計<br/>                     検査院の検査と連携して進められ<br/>                     ているところです。</p> <p>2 内部調査の結果については、会計<br/>                     検査院にも随時報告しておりますが、<br/>                     会計検査院では当該報告内容につ<br/>                     いて精査中であると聞いており、<br/>                     検査を受ける立場にある本県とし<br/>                     ては、現段階では、報告内容等につ<br/>                     いてお答えする状況ではありません。</p> <p>3 また、補助事業の執行にあたって<br/>                     は、計画的な事業執行と的確な予<br/>                     算管理により不用額の発生を可能<br/>                     な限り抑えるとともに、やむを得<br/>                     ず不用額が生じた場合には制度に<br/>                     則って処理するなど、適切に対処<br/>                     してまいります。</p> | <p>石渡副知事</p>  |
| <p>&lt;再質問&gt;<br/>                     ○ 国庫補助事業の17事業のうち<br/>                     16事業に全額執行し、不用額を<br/>                     出さずに使い切ることに<br/>                     ついて、見解を伺いたい。</p>  | <p>○ 国庫補助事業の執行につきましては、<br/>                     計画的な予算執行に努めるととも<br/>                     に、その適正な経理について十分<br/>                     に認識をするなど、適正に対応し<br/>                     てまいりたいと思います。</p>   | <p>農林水産部長</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 農林水産部 農林水産政策課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者         |
|--|--|---------------|
| <p>1. 知事の基本的政治姿勢について</p> <p>（5）職員の不祥事について</p> <p>エ 土地改良政治連盟への寄附金問題について、地方公務員法の適用外であっても、退職者を含めた実態解明調査が必要ではなかったのか。また、いつから寄附が始まり、寄附依頼が係わっていたか更なる調査が必要ではなかったのか。</p> <p>&lt;再質問&gt;</p> | <p>1 寄附金問題を報じました新聞記事を受けまして、平成20年の寄附の実態について、寄附金の働きかけを行ったと考えられる職員及び働きかけを受けたと考えられる職員から聞き取り調査を行いました。</p> <p>2 さらに、この調査の中で6、7年前から、同様な寄附金供与の働きかけが行われていたことがうかがわれたため、平成19年以前の状況についても、追加調査を行ったところあります。</p> <p>3 これらの調査の結果、寄附金供与の働きかけに関しまして、経路の特定及び関与した職員を把握し、これらの行為については、地方公務員法で禁止されている政治的行為に該当するため、去る6月1日に、関係職員16名に対して処分を行ったところあります。</p> | <p>石渡副知事</p>  |
| <p>○ 県は、退職者や土地改良政治連盟に対し、もう一度、詳細に調べる必要があるのではないか。</p>  | <p>○ 今回の調査で、働きかけの経緯と関係職員の関与については、把握できたものと考えています。</p>   | <p>農林水産部長</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答弁者                 |
|--|--|---------------------|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>(1) 財源のほとんどが国頼みと借金だが、継続性のない財源の多用は、財政再建に懸念を残すものと考えがどうか。</p> | <p>1 今回の6月補正予算では、現在の厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、国の経済危機対策に合わせまして速やかな対応を図ることとしております。</p> <p>このため、国の経済対策に係る国庫支出金や地方債につきましても、積極的に活用したところ です。</p> <p>2 今後とも、中長期的な視点に立って、計画的な財政運営に努めてまいります。</p> | <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|--|--|---------------------|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>(2) 人事委員会勧告を受け、職員及び特別職の賞与の減額が可決されたが、歳出予算から人件費が減額補正されていないのはなぜか。</p> | <p>今回の人事委員会勧告及び給与条例の改正は、職員の期末勤勉手当の支給割合を0.2か月分凍結するものですが、凍結分の取扱いについては、本年秋の勧告に基づき、必要な措置を講ずることとされています。</p> <p>このため、現段階では予算上は減額補正を行っておりません。</p> | <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                 |
|--|---|-----------------------|
| <p>（再質問）</p> <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>（2）人事委員会勧告を受け、職員及び特別職の賞与の減額が可決されたが、歳出予算から人件費が減額補正されていないのはなぜか。</p> <p>59億円凍結したので、秋に清算するという話であるが、一般会計に「凍結」という概念はない。実際に今議会中に減額の賞与が支給される、減額されて執行されるわけだから、減額補正をしなければならない。予算は、県民に対する情報公開であり、誠実に執行すべき、減額すべきであると思うがどうか。</p> | <p>今回の人事委員会勧告及び給与条例の改正は、職員の期末勤勉手当の支給割合を0.2か月分凍結するものでございますが、凍結分の取扱いにつきましては、本年秋の勧告に基づいて行うということとされております。</p> <p>また、この部分についての交付税措置がどうなるかということにつきまして、まだ国において明確な方針が出ておりませんので、こういうことも含めまして、現段階では予算上は減額補正を行っておりません。</p> | <p>総務部長<br/>小宮大一郎</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）

部・課名 県土整備部 道路計画課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者              |
|--|--|--------------------|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>(3) 東関東自動車道館山線の4車線化工事計画がまだ明らかになっていない状況で、直轄事業負担分を今年度だけで全額予算化することはどういうことか。さらに工事費の増額があった場合、負担金の増額はあるのか。</p> | <p>1 東関東自動車道館山線については、渋滞が多く発生している状況から、これまでも、県としては、4車線化について、国へ強く要望を続けてきたところです。</p> <p>2 このような中、国が経済危機対策の補正予算として、今回、4車線化に要する事業費を、新たな整備手法により一括して予算計上したところであり、県としてもその事業費に対し負担しようとする ものです。</p> <p>3 また、工事費増額の可能性については、既に4車線化分の用地が確保されていること、過去に暫定2車線での工事实績があることなどの点から、大きな変動は無いものと考えていますが、更なるコスト縮減が図られるように、事業者に対して要請してまいります。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 学事課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                    |
|--|--|--|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について<br/>                     (4) 私学助成について、国の標準単価の増加分を差し引いた県単独の上乗せ分は、実質いくらか。さらに、今後の私学振興にどのように取り組むのか。</p> | <p>1 大変厳しい財政状況の中、私学助成の充実のため、今回、私立学校経常費の補助単価につきまして、小・中学校を、国の標準単価まで引き上げるとともに、高校と幼稚園につきましては、平成16年度に廃止されました県単独の補助単価の上乗せを、高校で3千円、幼稚園で3百円、それぞれ復活させることといたしました。</p> <p>2 それによりまして、国の標準単価の増加分を差し引いた、県単独の上乗せ額として、高校で1億3千7百万円、幼稚園で2千5百万円、併せまして1億6千2百万円の増額となっております。</p> <p>3 今後とも、本県私学教育の一層の発展と、保護者の経済的負担の軽減を図るため、私学助成の充実に向け努力してまいります。</p> | <p>副知事<br/>                     石渡哲彦</p> |



平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部児童家庭課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                   |
|--|--|---|
| <p>2. 平成21年度6月補正予算について</p> <p>(5) 保育所整備促進事業について</p> <p>ア 今年度の保育所の施設整備について、どのような見通しを立てているのか。</p> <p>イ 来年度も同程度の県単独臨時加算金で事業を促進していくのか。</p> | <p>1 県では、国の交付金を財源として、平成22年度までの間、保育所を重点整備するために、平成20年度2月補正において「安心こども基金」を造成し、それを活用することで待機児童の早期解消に向けた取り組みを行うこととしております。</p> <p>さらに、県単独助成を加算することで、保育所の施設整備を促進することとしています。</p> <p>2 保育所の整備については、保育の実施主体である市町村が地域の保育需要にあわせて計画的に整備を進めることになっているため、市町村調査を行い、その結果15か所程度の整備を見込んでいるところでございます。</p> <p>3 現在、具体的な協議を進めているところですが、今年度の整備によって来年4月以降おおむね1,000人分の定員が確保できるものと考えております。</p> <p>来年度の事業実施にあたっては、今年度の整備状況や市町村の要望を調査した上で、連携を図りながら、待機児童解消に向けて整備の促進を図っていきたいと考えております。</p> | <p>副知事<br/>植田 浩</p> <p>副知事<br/>植田 浩</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨  | 答弁者                                     |
|---|--|---|
| <p>3. 財政問題について<br/>                     (1) 本県の財政状況についての認識はどうか。</p> | <p>本県の財政状況は、<br/>                     (1) 歳入の中心となる県税が、景気の悪化により大幅に落ち込む一方で、人件費や社会保障費などの義務的経費が増加を続けていること<br/>                     (2) 県債残高が今年度末で2兆6,900億円となる見込みであること<br/>                     (3) 財政調整基金の残高がゼロであること<br/>                     など、極めて厳しい状況にあるものと認識しております。</p> | <p>知事<br/>                     森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|---|---|--------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(2) 臨時財政対策債の受け止め方も踏まえて「借金を増やさないように頑張る」について政策的な考え方をお聞かせ願いたい。</p> | <p>1 県債残高を増やさないという方針について、就任当時と変わってはおりません。</p> <p>2 ただし、臨時財政対策債については、地方交付税の振り替えであり、地方財政制度上発行せざるを得ないことから、こうした地方債を除く、いわゆる建設地方債等について、発行を抑制していきたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                                    |
|---|---|--|
| <p>（再質問）</p> <p>3. 財政問題について</p> <p>（2）臨時財政対策債の受け止め方も踏まえて「借金を増やさないように頑張る」について政策的な考え方をお聞かせ願いたい。</p> <p>借金は2兆6,000億円を超え、利息の7,000億円を入ると3兆4,000億円を超える額を返さなければならない増やさないということはたいへんな努力であると思う。</p> <p>ただ、今回の補正予算だけでも、臨時財政対策債を除いただけでも、230億円近くある。</p> <p>臨財債が110億円、その他が238億円。そのうち補正予算債が63億円ある。補正予算ですら借金を残した。このことについて、見解を。</p> <p>また、退職手当債は100%県の借金であり、そのピークが平成27年。これまで、県は退職手当のための積立はしていない。そのつど、財源措置をしていかなければならない。これも借金を賄わなければならないような状態である。</p> <p>このように借金を増やさないことは難しいが、感想はどうか。</p> | <p>臨時財政対策債は交付税の振り替えと認識しています。</p> <p>これまでも、その償還については交付税で措置されてきており、今後もそうであると考えております。</p> <p>いずれにしても、県としてできること、すなわち臨時財政対策債を除く、いわゆる建設地方債等の残高については、減らすように努めてまいります。</p> <p>臨財債、退職手当債も含めた財政の健全化について、議員ご指摘のとおり、臨財債、退手債、5条債、公共的な地方債を含めまして、財政健全化のために適正な県債管理をしていきたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> <p>総務部長<br/>小宮大一郎</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨  | 答弁要旨   | 答弁者                |
|---|--|--------------------|
| <p>3. 財政問題について<br/>(3) マニフェストの中で「県の収入全体を上げることに全力を注ぎます。」とあるが、どのような構想なのか。</p> | <p>1 現在のような経済危機の状況において、まず行うべきことは、千葉県の持つ力を引き出し、千葉県を元気にするための政策を積極的に実行していくことです。</p> <p>2 東京湾アクアラインの値下げをはじめ、企業誘致の促進や産業の振興などの施策を着実に実行することで、県内経済の活性化を図り、千葉県全体の富を増やし、これにより、県の収入増加につなげていきたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                 |
|--|---|-----------------------|
| <p>（再質問）</p> <p>3. 財政問題について</p> <p>（3）マニフェストの中で「県の収入全体を上げることに全力を注ぎます。」とあるが、どのような構想なのか。</p> <p>県税を増やす、県の収入全体を増やすという話であるが、考えられるのは法人二税、軽油引取税、交付金、県有地の売却等いろいろあるが、県税100億円増やすと交付税が75億円減らされる。25億円しか残らない。</p> <p>1,000億円の県税を伸ばす作業はたいへんなことで、一体どれだけのことをしなければならぬか。</p> <p>たった、250億円を残すだけでも1,000億円の税金の増加が必要であるという実態について、どう考えるのか。</p> | <p>現在行うべきことは、千葉県を持つちからを引き出して、千葉県全体が活力を取り戻すための政策を実行し、民間を含めた千葉県全体の富をしっかりと増やしていくことをごさいます。それが結果的には、県の歳入増加につながるものと考えております。</p> <p>交付税制度について、税収を増やしても75%は交付税が減るということですが、財政調整制度という交付税制度の中で、仮に税が増えた分100%交付税が減ることになれば、自治体が徴収努力をしにくくなるということがあります。</p> <p>逆に、交付税制度がないということになると、財政力の弱い過疎団体等において適正な財政運営ができないということになり、そうした中で現在の75%という交付税算入率が定められておりますので、ご理解いただきたいと存じます。</p> | <p>総務部長<br/>小宮大一郎</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨                           | 答弁者                |
|--|-----------------------------------|--------------------|
| <p>（再々質問）</p> <p>3. 財政問題について</p> <p>（3）マニフェストの中で「県の収入全体を上げることに全力を注ぎます。」とあるが、どのような構想なのか。</p> <p>県の収入を上げるといったときに、県税を100億増やしても75億が交付税で引かれるのであれば、結果は25億しか残らない。だから、本当に力をつけるにはどれだけの努力が必要だという現実的な話をした。</p> <p>意気込みや情熱だけではなくて、冷静に、どれだけ税金を増やしたら、どれだけ残るのか。増やした分だけ残らない現状があるから、100億増やしても25億しか残らないという構造的な問題を承知いただきたい。その感想を聞かせていただきたい。</p> | <p>それでも県税収入を増やすことは大事であると思います。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成 21 年 6 月 定例 県 議 会 ( 本 会 議 ) に お け る 答 弁 要 旨

( 質 問 日 : 平 成 2 1 年 6 月 1 7 日 )

( 代 表 ) ・ 一 般

部 ( 局 ・ 庁 ) ・ 課 ( 室 ) 名 総 務 部 税 務 課

質 問 者 民 主 党 田 中 信 行 議 員

| 質 問 要 旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者                                   |
|---|--|---|
| <p>3. 財政問題について<br/>                     (4) 県税の収入未済金の回収について<br/>                     ア. 県税の滞納状況をどのように分析し、また、21年度はどのように対応するのか。</p> | <p>1 県税の滞納額については、税源移譲を主な原因として、平成19年度から大幅に増加しており、19年度末の県税滞納額325億円のうち、約54パーセントを占める175億円が個人県民税であります。<br/>                     また、個人県民税以外の県税にあっても150億円と多額であり、このうち30万円以上の高額滞納が約46パーセントを占めています。</p> <p>2 このため、19年度から「千葉県滞納整理推進機構」を設置し、個人県民税の滞納整理を推進するとともに、これ以外の県税にあっては、20年度から、高額滞納を専門に処理する職員を増員し、徴収強化に取り組んできたところであります。</p> <p>3 これらの対応は、一定の成果を挙げているものと認識しており、21年度にあっても同様の取組みを行うものですが、今後は、より効率的かつ効果的な取組みを実施するなど、一層の徴収強化に努め、滞納額の縮減を図ってまいります。</p> | <p>知事<br/>                     森田健作</p> |



平成 21 年 6 月 定例 県 議 会 ( 本 会 議 ) に お け る 答 弁 要 旨

( 質 問 日 : 平 成 2 1 年 6 月 1 7 日 )

( 代 表 ) ・ 一 般

部 ( 局 ・ 庁 ) ・ 課 ( 室 ) 名 総 務 部 税 務 課

質 問 者 民 主 党 田 中 信 行 議 員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|--|--|---------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(4) 県税の収入未済金の回収について</p> <p>イ. これまで提案してきた一部事務組合としての滞納整理推進機構を創設し、市町村税を含む滞納未収金の回収に取り組む必要があると思うがどうか。</p> | <p>1 一部事務組合を設立するには、関係市町村の合意形成が必要ですが、それぞれの状況が異なることや新たな財政負担が生じることなどもあり、なかなか難しい問題であります。</p> <p>2 一方、現在の滞納整理推進機構は任意組織ではありますが、県下全市町村が参画しています。また、その成果についても、一定のものを挙げていると考えています。</p> <p>3 いずれにしても、個人の県民税や市町村民税の滞納は多額であり、市町村はもとより、県にとっても大きな問題であることから、22年度以降の滞納整理推進機構のあり方について、現在、市町村とともに検討しているところです。</p> | <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行、議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者               |
|--|--|---------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(5) 全ての基金の規定から繰替運用条項を削除すべきであるかどうか。</p> | <p>1 基金に属します現金につきましては、地方自治法において、確実かつ効率的に運用することと定められております。</p> <p>この運用につきましては、一般会計などへの貸付けも可能であるとされていることから、各基金条例においては繰替運用の規定を設けているところであります。</p> <p>2 ただし、一般会計の財源対策として、複数年度にわたる繰替運用を行うことにつきましては、基金の趣旨から見て望ましくないということから、平成20年度中にその全額を解消したところであります。</p> | <p>副知事<br/>石渡哲彦</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|--|---|--------------------|
| <p>3. 財政問題について<br/>(6) 今回示された財政健全化計画で、計画名を「健全化」とした理由は何か。</p> | <p>依然として厳しい財政状況が続く中、県財政の「健全化」を図ることは、県政の最も重要な課題であると考えております。</p> <p>このために、早急に事務・事業の大胆な見直しを行い、今年度中に新たな財政健全化計画を策定してまいります。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者              |
|--|---|--------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(7) 財政健全化計画における財源確保について、今の段階で基本的な考え方・方針はあるか。</p> | <p>財源確保策については、今後、財政健全化計画を策定していく中で検討することになりますが、現時点では、</p> <p>(1) 県内経済の活性化を図り、今後の税収増を図ること</p> <p>(2) 収入歩合の向上など、県税収入の確保を図ること</p> <p>(3) 事務・事業の見直しなどにより、コストの縮減を図ること</p> <p>などが考えられます。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成21年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成21年6月17日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 総務部 財政課

質問者 民主党 田中 信行 議員

| 質問要旨   | 答 弁 要 旨  | 答 弁 者              |
|--|--|--------------------|
| <p>3. 財政問題について</p> <p>(8) 「財政健全化計画」、「行政改革計画」、「総合計画」の三計画の策定にあたり、知事はどこに軸足を置いて県政を方向付けるのか。</p> | <p>1  厳しい経済情勢や財政情勢の中、県政の重要施策を着実に推進していくため、県政運営の基本方針となる「総合計画」と、これを支える「行政改革計画」や「財政健全化計画」を策定していく必要があります。</p> <p>2  この3つの計画の策定に当たっては、今後の財政見通しを踏まえ、横断的かつ総合的に調整しながら、より整合性と実効性のあるものとしてまいりたいと考えております。</p> | <p>知事<br/>森田健作</p> |

平成 21 年 6 月 定例 県 議 会 ( 本 会 議 ) に お け る 答 弁 要 旨

( 質 問 日 : 平 成 2 1 年 6 月 1 7 日 )

( 代 表 ) ・ 一 般

部 ( 局 ・ 庁 ) ・ 課 ( 室 ) 名

総務部総務課

質 問 者 民 主 党 田 中 信 行 議 員

| 質 問 要 旨  | 答 弁 要 旨   | 答 弁 者                  |
|--|---|------------------------|
| <p>4. 21年度は収支均衡となるとの年間収支見通しを立てている中、賞与削減分59億円が人件費により減額補正されていないことや、更なる給与・賞与カットの勧告も予想されることから、人件費独自削減措置を再延長すべきではないと思うがどうか。</p> | <p>1 21年度の年間収支については、退職手当債や行政改革推進債の発行などの特例的な財源対策を行ったことなどにより、現段階では、なんとか収支均衡が図られるものと見込んでいます。</p> <p>2 しかしながら、昨年来の急速な景気の悪化に伴う厳しい県内の経済・雇用情勢やそれに伴う今後の財政運営への影響も懸念される所です。</p> <p>3 このような状況を総合的に勘案し検討したところ、給与減額措置を現時点で終了できる状況にないという判断に至ったものです。</p> | <p>千葉県知事<br/>森田 健作</p> |